

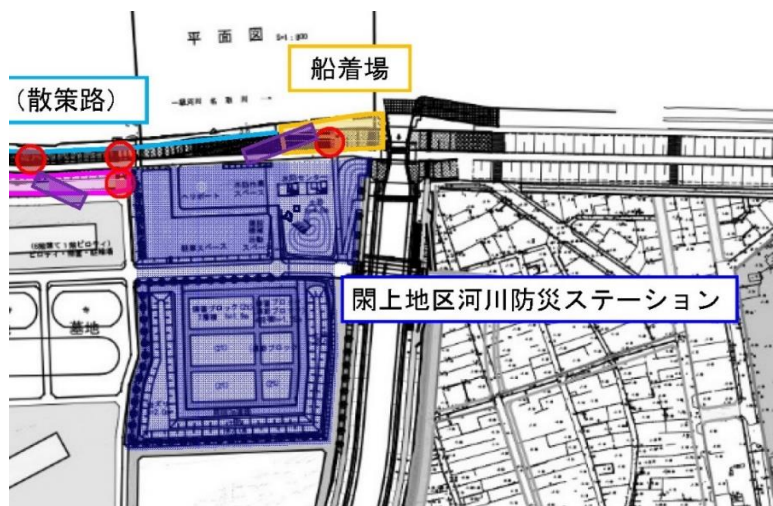
事業名

河川防災ステーション(名取川河川改修事業)

No	5	
事業名	河川防災ステーション	
概要	東日本大震災により甚大な被害を受けた閑上地区では、名取市震災復興計画に基づく土地区画整理事業と併せて、「河川防災ステーション」の整備による防災機能の向上を図るとともに、「かわまちづくり」の実施により水辺空間と一体となった賑わいのあるまちづくりを目指して名取市と国が連携して整備するもの。	
箇所名	名取市閑上2丁目地内	
事業施行期間	平成 27 年度 ~	
工事概要	1) 面積 約3.8ha 2) 整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ・国 河川防災ステーション整備(盛土、資機材備蓄等) ・市 水防センター(震災復興伝承館)の整備 	
事業担当	国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所工務第一課 名取市震災復興部復興調整課	022-248-4135 022-290-2085

現在の状況 (H30.3.31現在)	<ul style="list-style-type: none"> ・水辺を活かしたまちづくり検討会(H27)における審議結果に基づく施設整備 ・施設の維持管理等に関する検討 ・施設(水防センター)についての整備方針を検討 ・施設の維持管理に関する検討、整備内容についての検討
今後のスケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・河川防災ステーション整備 ・平成30年度 震災伝承館詳細設計 ・平成31年度 震災伝承館工事着手 ・平成32年度 震災伝承館オープン予定

位置図



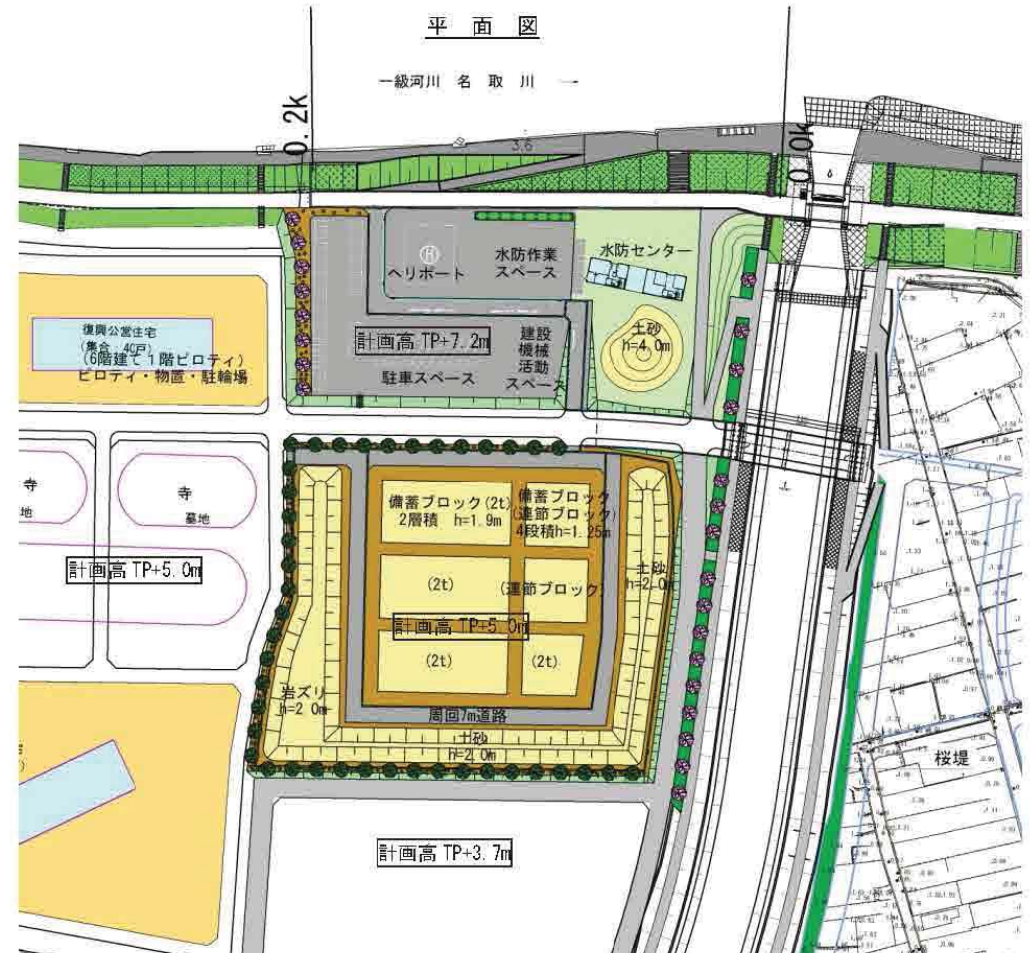
河川防災ステーション事業（案）

(1) 施設規模・平面配置

河川防災ステーションには、名取川左岸 5.4k が破堤した場合の応急復旧に必要な以下の資材を備蓄する。

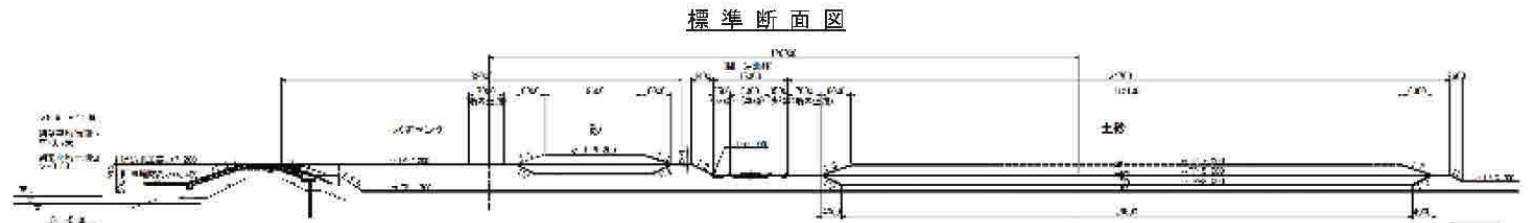
河川防災ステーションの概要（施設の内容、機能など）

種別	面積 (m ²)	備考（施設の内容、機能等）
水防センター	700 m ²	水防団仮眠室、水防資材倉庫、水防団活動基地、水防団待避所、湯沸室、便所、収納、休憩コーナー、共有スペース、防災学習コーナー 延床面積：400 m ² A=400/60%（建ぺい率）≒700 m ²
資材備蓄スペース	17,060 m ²	
根詰めブロック	7,490 m ²	ブロック：2t/個、必要備蓄量 N=4,700 個 [2層積 h=1.9m]
岩ズリ	3,000 m ²	岩ズリ：V=9,600m ³ [築山盛土高 h=2m, 土中埋設 h=2m, 覆土]
土砂	4,540 m ²	土砂：V=10,800m ³ [築山盛土高 h=2m, 土中埋設 h=2m, 覆土]
連節ブロック	2,030 m ²	シャックルタイプ N=4,700 個 [築山盛土高 h=1.25m]
建設機械活動スペース	500 m ²	バックホウ(0.7m ³) 4台(2台/パーティ)が同時に活動できるスペース
水防作業スペース	940 m ²	水防準備活動スペース(土嚢作成、材料積み込みスペース)
駐車場	4,050 m ²	普通車 49 台、大型車 11 台の駐車スペース確保
防災ヘリポート	1,020 m ²	防災用ヘリポート(7m ² 型 AS332L2 型/みちのく号)
道路	5,180 m ²	場内道路幅員は、ダンプトラックの往復に必要な相互 2 車線の幅として W=7.0m 確保 [車道 3.0m×2, 路肩 0.5m×2]
その他	9,040 m ²	盛土法面部 A=2,440m ² , その他緑地帯など A=6,600m ²
全体面積	38,490 m ²	



関上東地区被災地復興土地区画整理事業

- ・ 防災拠点の南側は、計画高 TP+3.70m の工業用地エリアとなる。
- ・ 防災拠点に近接する貞山運河沿いと南側は、TP+3.70m、W=8.0m の道路となる。



※施設配置、構造等は今後検討を進める中で、変更となる可能性があります。